

情報カードを使って資料を集める

課題解決のために、様々な資料を読み解く

高校1年

総合的な探究の時間

「鳥取学Ⅰ」(探究型学習)

ねらい

○地域の企業や教育・研究機関に訪問し、地域に対する理解を深めるとともに、地域の抱える課題や取り組みを知り解決に向けてさまざまな資料を活用して調べる。

○調べた内容をまとめ、ポスターセッションを行うことで、主体的・創造的な力を身につけるとともに、鳥取の新たな魅力を発見する。

学 習 展 開

- ① 生徒は自分の興味がある7分野のうち1つを選び、クラスごとに研究班に分かれ、企業等に訪問する。7分野は以下の通り
(○地域創生○地域活性化○農林水産業○工業・エネルギー
○コミュニティー作り○医療・福祉○教育・文化)
- ② 担当教員が、授業の流れと発表の仕方などについて説明をする。
- ③ 担当教員が、情報カードの書き方について説明する。
- ④ 学校司書が参考文献の書き方や資料の探し方などを説明する。
- ⑤ 生徒は資料を読み進め、情報を収集・整理し、要点を情報カードに写し、ポスター(A4 6枚)に収集した情報をまとめる。
- ⑥ 分野別に訪問先でポスターセッションを行う。
- ⑦ 訪問先で頂いたアドバイスをもとに、ポスターに改善を加え、クラスごとに発表を行う。



情報カードについて説明



目次・奥付の見方を説明

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 担当教員、司書教諭、学校司書で事前に調べ学習に必要なプロセスについて検討する。情報カードを中心としたワークシート等を用いた探究型学習について打ち合わせを行い、内容、時間数を確認する。
- 学校司書は学校図書館や県立図書館の資料、新聞記事データベース、ICT環境等を準備する。
- テーマに沿った本の探し方・参考文献の記入方法について、司書教諭・学校司書が生徒に説明。

*指導のポイント

- ◆ 生徒は本の選定に時間がかかるため、学校司書と連携して支援を行い、読み進める時間を多くとるようにした。
- ◆ 参考文献のページ・行・URLなどをしっかり書かせると、次回の作業のスタートがスムーズになる。
- ◆ 発表の効果的な順序、発表の仕方等を考えるとともに図やグラフ等の利用を促し視覚効果の高い作品を求めた。

資料

- ・ 桑田てるみ (2016) 『思考を深める探究学習』 全国学校図書館協議会
- ・ 鎌田和宏 (2016) 『入門情報リテラシーを育てる授業づくり』 少年写真新聞社
- ・ 県立図書館より借り受けたテーマ別の資料約300冊、新聞記事データベースなどを活用